

7 糖尿病

目指すまちの姿7

**生活習慣を整えて、
糖尿病の発症及び重症化を防ぐまち**

～生活習慣病予防の知識を正しく身につけ、
生活習慣の改善により、
自分とまわりの人の健康を守りましょう！～

1 糖尿病に関する柏市の現状及び健康課題

糖尿病に関する「柏市の現状」から、「柏市の健康課題」を抽出します。

柏市の現状データ

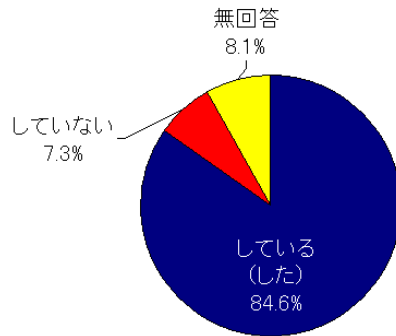
◆疾病の指摘状況

【再掲】図4【成人の疾病の指摘状況（平成23年度）】（P19）参照

- ・「糖尿病」の指摘を受けた割合は、6.9%（男性9.6%、女性4.3%）です。
- ・年齢別でみると、「20歳代」0.0%、「30歳代」1.1%、「40歳代」2.6%、「50歳代」6.7%、「60～64歳」9.7%、「65～74歳」12.9%、「75歳以上」14.3%です。年齢とともに、指摘を受けた人が増加しています。

◆糖尿病の指摘を受けてからの、治療や何らかの取り組み状況【糖尿病の指摘を受けた人】

図63 成人の糖尿病の指摘を受けてからの、治療や何らかの取り組み状況（平成23年度）

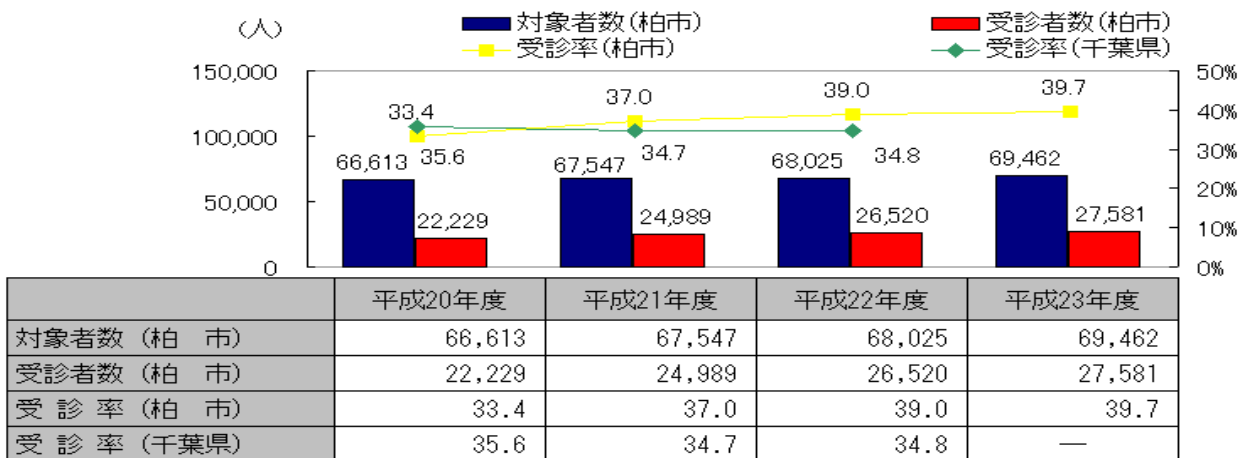


「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数:1,782人

- ・糖尿病の指摘を受けてからの、治療や何らかの取り組み状況については、「している(した)」84.6%、「していない」7.3%です。

◆柏市国民健康保険特定健康診査受診者数及び受診率

図64 法定報告における柏市国民健康保険特定健康診査受診者数及び受診率の推移（平成20～23年度）

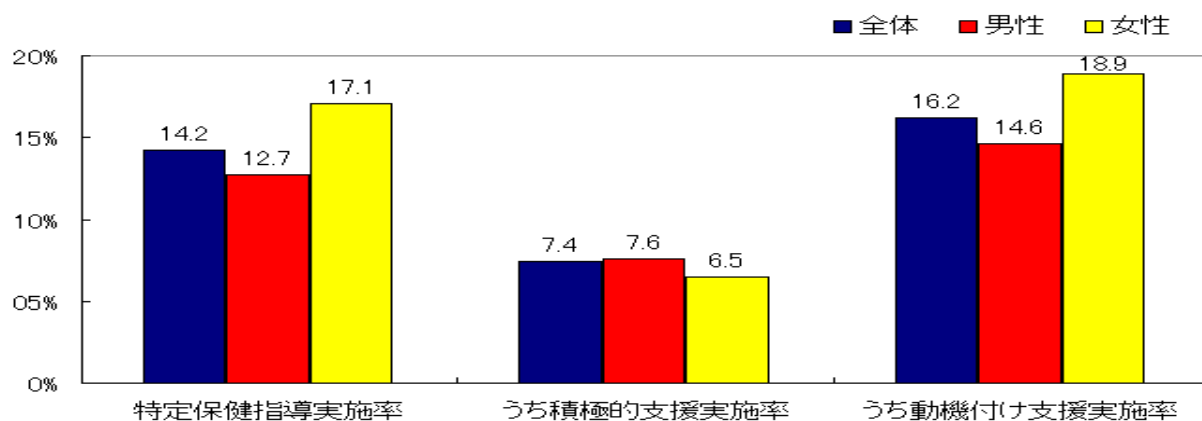


「平成23年度 柏市国民健康保険特定健康診査実施報告」

- ・柏市国民健康保険特定健康診査受診者数及び受診率については、「平成23年度法定報告」が、27,581人、39.7%です。

◆ 柏市国民健康保険特定保健指導実施率

図65 柏市国民健康保険特定保健指導実施率（平成23年度）



「平成23年度 柏市国民健康保険特定保健指導 法定報告集計情報」

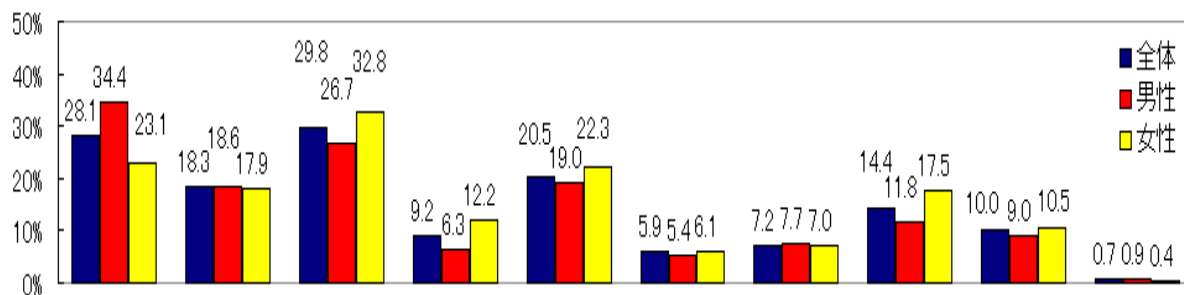
- ・ 特定保健指導実施率については、保健指導レベルが「積極的支援」7.4%（男性7.6%、女性6.5%）、「動機付け支援」16.2%（男性14.6%、女性18.9%）であり、全体で14.2%（男性12.7%、女性17.1%）です。

◆ 特定健康診査・特定保健指導

医療制度改革に伴い、平成20年（2008年）4月から国民健康保険や健康保険組合などすべての医療保険者において特定健康診査と特定保健指導の実施が義務づけられました。メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目した健康診査・保健指導により、糖尿病等の生活習慣病を予防することを、主な目的としています。

◆ 健康診査、がん検診を受けなかった理由

図66 成人の過去1年間に健康診査やがん検診を受けなかった理由（平成23年度）



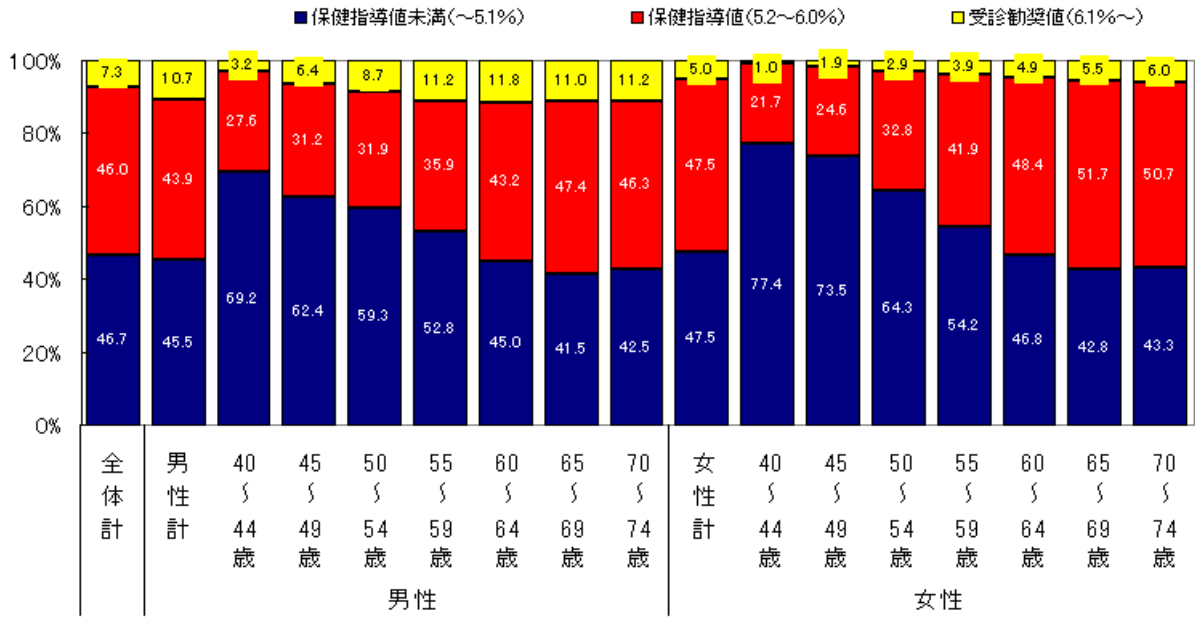
	健康なので必要ない	医療機関を受診中	忙しく都合がつかない	結果が不安	費用がかかる	身近な場所を実施していない	健診（検診）の実施を知らなかった	受け方がわからない	その他	無回答
全体	28.1	18.3	29.8	9.2	20.5	5.9	7.2	14.4	10.0	0.7
男性	34.4	18.6	26.7	6.3	19.0	5.4	7.7	11.8	9.0	0.9
女性	23.1	17.9	32.8	12.2	22.3	6.1	7.0	17.5	10.5	0.4

「平成23年度 柏市民健康意識調査等結果報告書」回答者数:1,782人

- ・ 健康診査、がん検診を受けなかった理由については、20%を超えた主なものが、「忙しく都合がつかない」29.8%（男性26.7%、女性32.8%）、「健康なので必要ない」28.1%（男性34.4%、女性23.1%）、「費用がかかる」20.5%（男性19.0%、女性22.3%）です。

◆血糖 ヘモグロビンA1cの状況 [6.1%以上の者の割合] (40歳以上)

図67 柏市国民健康保険特定健康診査結果 [ヘモグロビンA1c] (平成23年度)



「平成23年度 柏市国民健康保険特定健康診査結果」

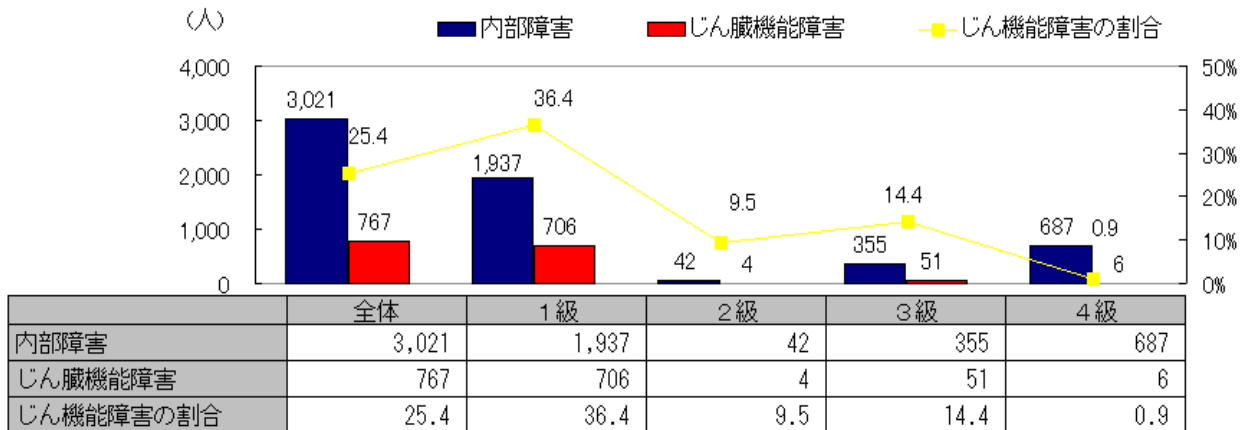
- ・40歳以上のヘモグロビンA1cについては、受診勧奨値である「6.1%以上」が7.3% (男性10.7%, 女性5.0%) です。

◆ヘモグロビンA1c (ヘモグロビンエーワンシー)

糖化ヘモグロビンのことです。過去約1~2ヶ月の平均的な血糖状態が分かり、通常時の血糖レベルの判定に使われます。この値が5.2%以上になると、平均的な血糖値が高く、糖尿病の危険性があるといえます。

◆じん臓機能障害による身体障害者手帳所持状況

図68 じん臓機能障害による身体障害者手帳所持状況（平成23年度）



「平成23年度 障害福祉課統計」

- ・じん臓機能障害による身体障害者手帳所持状況については、内部障害のうちのじん臓機能障害の割合が、「1級」36.4%、「2級」9.5%、「3級」14.4%、「4級」0.9%で、全体では25.4%です。

◆糖尿病による医療費（国民健康保険分）

図69 糖尿病による医療費〔国民健康保険分〕（平成20年と平成23年との比較）

	平成23年 6月審査分	平成20年 6月審査分	比較 (23-20)
国民健康保険被保険者数	112,712人	109,692人	+3,020人
受診率	75.82%	76.45%	-0.63%
総件数	85,454件	83,860件	+1,594件
糖尿病件数	3,370件 (3.9%)	3,422件 (4.1%)	-52件 (-0.2%)
総点数	200,755,231点	178,928,715点	+21,826,516点
糖尿病総点数	8,447,642点 (4.2%)	8,743,154点 (4.9%)	-295,512点 (-0.7%)
糖尿病入院件数	40件	54件	-14件
糖尿病入院点数	1,770,473点	3,224,258点	-1,453,785点
糖尿病入院日数	564日	844日	-280日
糖尿病入院外件数	3,330件	3,368件	-38件
糖尿病入院外点数	6,677,169点	5,518,896点	+1,158,273点
糖尿病入院外日数	4,973日	4,959日	+14日

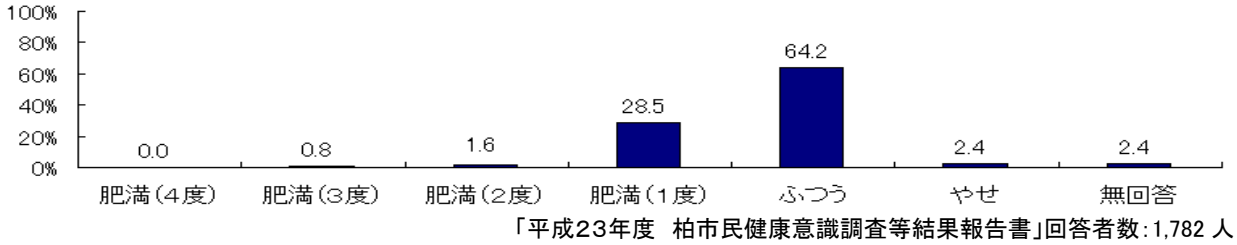
「国保病類別疾病統計表」

- ・平成23年6月審査分の国民健康保険の被保険者数は、112,712人（平成20年比：3,020人増）で、このうち医療受診率は75.82%（平成20年比：0.63%減）です。
- ・平成23年6月審査分の一月あたりの糖尿病総点数は、8,447,642点（全体の4.2%）です。（平成20年比：295,512点減）

糖尿病の主要原因となりうる生活習慣や環境要因について

◆身長及び体重に関する状況（肥満度）〔糖尿病の指摘を受けた人〕

図70 成人の身長及び体重に関する状況〔肥満度〕（平成23年度）

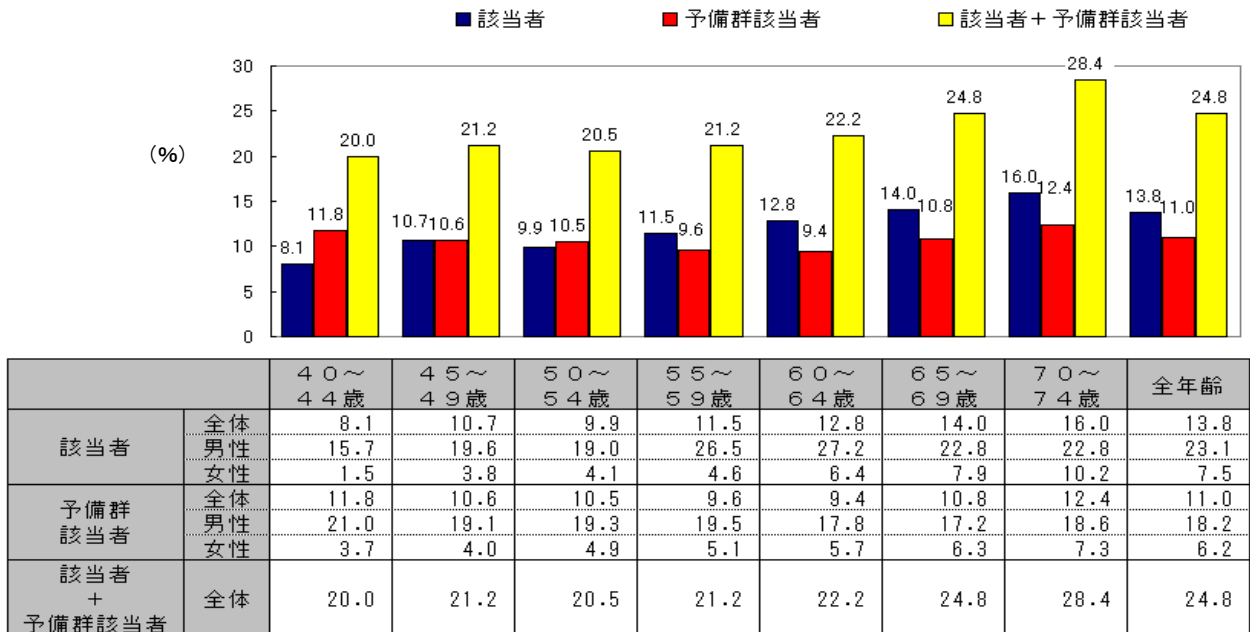


・糖尿病の指摘を受けた人の肥満度については、「肥満（1度）以上（=BMIが25.0以上）」が30.9%です。

※ [BMI = (体重 (kg) ÷ (身長 (m) × 身長 (m))) で算出した肥満度を示す指数で、25.0以上で「肥満」と判定されます]

◆メタボリックシンドローム〔内臓脂肪症候群〕の該当者・予備群該当者の割合（40歳以上）

図71 メタボリックシンドローム〔内臓脂肪症候群〕の該当者・予備群該当者の割合



「平成23年度 柏市国民健康保険特定健康診査結果」

・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群該当者の割合については、「該当者」と「予備群該当者」を合わせた『該当者』が、「40歳～44歳」20.0%、「45歳～49歳」21.2%、「50歳～54歳」20.5%、「55歳～59歳」21.2%、「60歳～64歳」22.2%、「65歳～69歳」24.8%、「70歳～74歳」28.4%です。

◆メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）

内臓の周囲に脂肪が蓄積する「内臓脂肪蓄積型」の肥満者が、高血圧、脂質異常、高血糖のうち、2つ以上の項目が該当している状態をいいます。（「内臓脂肪症候群」ともいいます。）

栄養・食生活	<p>肥満は、糖尿病の発症やメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）になるだけでなく、じん臓疾患の発症の確率を高めることが分かっています。</p> <p>【再掲】栄養・食生活に関する「柏市の現状」（P 17～P 23）参照</p>
身体活動・運動	<p>身体活動・運動は、肥満の解消に効果があることのみならず、生活習慣病予防への期待がある実践項目です。</p> <p>【再掲】身体活動・運動に関する「柏市の現状」（P 30～P 33）参照</p>
休養・こころの健康	<p>うつ病にうつ状態を加えた「うつ」があると、肥満が増え、健康的な生活習慣が妨げられる可能性があります。</p> <p>【再掲】休養・こころの健康に関する「柏市の現状」（P 38～P 45）参照</p>
喫煙	<p>喫煙は、糖尿病の主要なリスク要因です。</p> <p>【再掲】喫煙に関する「柏市の現状」（P 50～P 58）参照</p>
飲酒	<p>飲酒及び飲酒時の食事によるカロリー摂取が、肥満やメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）につながる可能性があります。</p> <p>【再掲】飲酒に関する「柏市の現状」（P 64～P 67）参照</p>
歯・口腔の健康	<p>歯・口腔の健康は、健康的な日常生活を営むために不可欠な摂食と密接に関連するものであり、その良否は寿命の延伸や生活の質の向上に大きく関係しています。</p> <p>【再掲】歯・口腔の健康に関する「柏市の現状」（P 72～P 80）参照</p>

柏市の現状から課題抽出

柏市の健康課題 ① 若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防

糖尿病の発症予防及び重症化予防のために、市民が糖尿病に関する正しい知識を身につけ、若い世代から糖尿病予防の実践ができる体制を整備する必要があります。

柏市の健康課題 ② 定期的な健康診査の受診

糖尿病の発症予防及び重症化予防のために、市民が健康診査の重要性を理解し、定期的に健康診査を受けることで、自身の健康状態をよく知る必要があります。

《課題となる背景・理由》

- 現状データの特徴から、以下の点が明らかに
 - ・糖尿病の指摘を受けたことがある割合を性別で見ると、男性は女性の約2倍の割合で指摘を受けていること
 - ・糖尿病の指摘を受けたことがある割合が、40歳代から急増していること
 - ・糖尿病の指摘を受けたことがある人のうち、「高血圧症」の指摘を受けたことがある人が35.9%、「脂質異常症」の指摘を受けたことがある人が33.6%であること（＝糖尿病の指摘を受けたことがある人は、メタボリックシンドローム〔内臓脂肪症候群〕の該当者が多い）
 - ・糖尿病の指摘を受けても、治療や何の取り組みもしていない（いわゆる「放置状態」）割合が7.3%であること
 - ・柏市国民健康保険特定健康診査受診率が40%に満たないこと
 - ・柏市国民健康保険特定保健指導実施率が14.2%であること
 - ・40歳以上で、「ヘモグロビンA1c：6.1%以上」が7.3%いること
 - ・身体障害者手帳1級所持者（3,559人）の約2割が、じん機能障害によるものであること
 - ・じん機能障害による身体障害者手帳所持者の約9割が、1級所持者であること
 - ・糖尿病にかかる医療費負担が大きいこと
 - ・糖尿病の指摘を受けたことがある人のうち、肥満が3割以上いること
 - ・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群該当者が、40歳代以降のすべての年代において、約2割～3割いること
 - ・メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者及び予備群該当者は、女性に比べ男性が圧倒的に多いこと

●各分野で関連する項目

再掲項目	参照ページ
栄養・食生活に関する「課題となる背景・理由」	P19, P21, P23
身体活動・運動に関する「課題となる背景・理由」	P30, P33
休養・こころの健康に関する「課題となる背景・理由」	P40, P44~P45
喫煙に関する「課題となる背景・理由」	P54, P56, P58
飲酒に関する「課題となる背景・理由」	P67
歯・口腔の健康に関する「課題となる背景・理由」	P77, P80

- 糖尿病はがん等とは異なり、その病気自体で死亡することは少ないものの、一度発症すると完全に治すことが難しい病気であること
- 糖尿病は初期の段階では自覚症状がないため、治療をしないで放置されがちな病気であり、症状の進行により重篤な合併症を引き起こすこと

柏市の健康課題

- 1 『若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防』
- 2 『定期的な健康診査の受診』

2 柏市の健康目標

「柏市の健康課題」に対し、「柏市の健康目標」を定め、また各健康課題に対応した目標値を定めます。

健康目標

健康課題の解消に向けた取り組みを積極的に行い、
『生活習慣を整えて、糖尿病の発症及び重症化を防ぐまち』を
目指します。

目標値

1 『若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防』

◇関連する各分野の項目

再掲項目	参照ページ
栄養・食生活	栄養・食生活に関する「目標値」(P24~P25)参照
身体活動・運動	身体活動・運動に関する「目標値」(P34)参照
休養・こころの健康	休養・こころの健康に関する「目標値」(P46~P47)参照
喫煙	喫煙に関する「目標値」(P60~P61)参照
飲酒	飲酒に関する「目標値」(P68~P69)参照
歯・口腔の健康	歯・口腔の健康に関する「目標値」(P81~P82)参照

指 標		現状値 (平成23年度)	目標値 (平成34年度)	
糖尿病の指摘を受けた人の割合	30歳代	1.1%	維持又は減少	
	40歳代	2.6%	維持又は減少	
	50歳代	6.7%	維持又は減少	
	60歳~74歳	22.6%	維持又は減少	
	75歳~	14.3%	維持又は減少	
メタボリックシンドローム [内臓脂肪症候群]の該当者及び予備群該当者の割合 (40歳以上)	該当者	男性	23.1%	17%
		女性	7.5%	6%
	予備群 該当者	男性	18.2%	14%
		女性	6.2%	5%
ヘモグロビンA1cが6.1%(NGSP値で6.5%)以上の人の割合		7.3%	6%	
じん臓機能障害による身体障害者手帳1級所持者数		706人	維持又は減少	
糖尿病医療費 (国民健康保険 一月あたりの総点数)		8,447,642点	減少	

◆NGSP値

日本糖尿病学会では、2012年4月1日よりヘモグロビンA1cの表記を、日常の診療において国際標準値(NGSP値)を使用することに決めました。したがって、これまで使用していた数値(JDS値)よりおよそ0.4%高くなります。

2 『定期的な健康診査の受診』

指 標	現状値 (平成23年度)	目標値 (平成34年度)
柏市国民健康保険特定健康診査の受診率(法定報告)	39.7%	60.0%
柏市国民健康保険特定保健指導の実施率(法定報告)	14.2%	45.0%
糖尿病の指摘を受けたが、放置している人の割合	7.3%	減少

3 柏市の健康目標を達成するための取り組み

「柏市の健康目標」を達成するため、次の取り組みを積極的かつ効果的に推進していきます。

①若い世代からの糖尿病の発症予防と重症化予防

②定期的な健康診査の受診

市民が生活習慣を整えて、糖尿病の発症予防及び重症化〔合併症〕予防ができるよう、各関係機関と連携し、教育・啓発・相談・指導・環境整備等を行います。

関連する分野の再掲項目	参照ページ
栄養・食生活に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 27～P 28
身体活動・運動に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 35～P 36
休養・こころの健康に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 47～P 48
喫煙に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 61～P 62
飲酒に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 69～P 70
歯・口腔の健康に関する「柏市の健康目標を達成するための取り組み」	P 82～P 83

市，地域，職場，企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●糖尿病に関する正しい知識（糖尿病の発症予防及び重症化〔合併症〕予防，特定健康診査等の正しい知識）を普及啓発します。 ●地域における啓発活動（各種出前講座，各種講演会等）
市，学校，職場，企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●子ども達への健康教育や，職場での教育・啓発活動等を通じて，糖尿病に関する情報提供・知識の普及を行います。【学校保健等との連携】
市，地域，学校，職場，企業等	<ul style="list-style-type: none"> ●柏市国民健康保険特定健康診査及び柏市国民健康保険特定保健指導の実施及び受診勧奨の充実を図ります。
市	<ul style="list-style-type: none"> ●市では，すべての取り組みにおいて， <ul style="list-style-type: none"> ・各種店舗等での啓発（啓発物の配布・掲示等） ・各種媒体による啓発（広報紙，HP，回覧等） ・各種健康啓発（教育）事業，各種個別健康相談事業，各種健康診査事業を通じた啓発（講演会，健康指導等） ・母子保健各種事業での教育・啓発・相談・指導（母子健康手帳の発行，母親・両親学級，マタニティクッキング教室，離乳食教室，新生児訪問，幼児健康診査等における啓発・指導等）の活用を図ります。 の活用を図ります。

※「企業」には，医療機関を含みます。

《柏市が取り組んでいる「糖尿病」に関する既存事業【抜粋】》

事業名 [担当部署]	事業の目的等
<p>柏市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導 [市民生活部保険年金課]</p>	<p>40歳以上の柏市国民健康保険加入者を対象として、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、その該当者・予備群該当者を減少させることにより、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施する。</p>
<p>柏市75歳以上の健康診査 [市民生活部保険年金課]</p>	<p>千葉県後期高齢者医療広域連合から委託され、市内在住の千葉県後期高齢者医療被保険者を対象として、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施する。</p>
<p>【再掲】 柏市健康診査（無保険者） [保健所成人健診課]</p>	<p>40歳以上の生活保護受給者のうち、医療保険未加入者を対象として、内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）に着目し、その該当者・予備群該当者を減少させることにより、糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として実施する。</p>